

議 事 概 要

協議会名称	伊勢市地域包括ケア推進協議会(第7回)
開催日時	令和8年3月23日(月) 13:30~14:15
開催場所	伊勢市役所本庁舎東館5階5-3・5-4会議室
出席した委員	中野一茂、徳田敦、村瀬広和、前村裕司、斎藤茂、北岡孝裕、森川和俊、伊藤弘、浦田貴大、羽根孝、有賀真津夫、松本剛 計12名
欠席した委員	富田薫、森和香子、池田恵津子、水島徹、赤坂知之 計5名
出席した事務局職員	大桑(健康福祉部長)、堀川(健康福祉部次長)、藤川(介護保険課長)、古川(副参事兼介護保険料係長)、井波(主幹兼介護認定係長)、中村(主幹兼介護給付係長)、村田(介護給付係)、山口(福祉監査室長)、竹原(事業所係長)、瀧鼻(事業所係主査)、奥野(高齢・障がい福祉課長)、石原(高齢福祉係長)、谷(健康福祉部参事兼福祉総合支援センター長)、田代(副参事)、中川(主幹兼総合相談係長)、北口(主幹兼地域包括ケア係長)、村井(健康課長)、中村(健康づくり係長)、前村(医療保険課長) ※計19名
傍聴者	3名
	<p>1 第11次老人福祉計画・第10期介護保険事業計画策定のためのアンケート調査進捗状況の報告等について「資料1」</p> <p>○計画策定のためのアンケート調査進捗状況の報告等について、事務局から資料に沿って説明</p> <p>委員「高齢者は自宅でできるだけ過ごしたい。市には地域の見守りやサービスの仕組み等を検討していただいているが、高齢者には経済的に苦勞する人もいるので全てをサービスで賄うのは難しい。ボランティアなど地域の担い手を積極的に周知していただけるとよい。」</p> <p>委員「認知症であっても自分らしく暮らすことができると思うかという問いに対して、39.5%の人が『そう思う。』と回答している。どうしてそう思うのか理由も聞いてみたかった。」</p> <p>委員「私にもアンケートが届いたので、同様に答えた。私の場合は、仕事で認知症の方々をお会いしているなかで、こういうふうに暮らしていけるだという実感があった。一般的に認知症に関する知識に偏りが大きいので、知識が少ない人ほど不安に感じるのではないか。地域で暮らす認知症の方のことを周知するとよいの</p>

	<p>ではないか。」</p> <p>委員「人生の最期のための準備について聞きたいことという設問については、考えさせられる回答だった。人生の最後に行政がどう関わっていくのかが今後の課題になってくると思う。」</p> <p>→了承</p>
<p>議題及び協議概要</p>	<p>2 地域密着型サービス事業所等の指定等について「資料2、資料2-1」</p> <p>○地域密着型サービス事業所等の指定等について、事務局から資料に沿って説明</p> <p>→了承</p> <p>3 地域包括支援センターの運営について「資料3」</p> <p>○地域包括支援センターの運営について、事務局から資料に沿って説明</p> <p>→了承</p> <p>4 認知症にやさしいまちづくり分科会の実施報告について「資料4」</p> <p>○認知症にやさしいまちづくり分科会の実施報告について、事務局から資料に沿って説明</p> <p>委員「地域のネットワークの強化について、認知症高齢者等 SOS ネットワーク『いせ見守りてらす』登録制度の登録者数が112人であるが、どのような取り組みで登録を促したのか。また、協力機関へはどのような方法で周知しているのか。」</p> <p>事務局「登録者について、令和7年度はケアマネジャーや色々な方からの紹介があった。広報いせに掲載したことで連絡をいただいた方もある。また、警察で行方不明になった方に登録を勧めていただいたりして、徐々に登録が増えていった。協力機関へは、手引きをお渡しして、発見した際には連絡をいただくなどご協力をお願いしている。」</p> <p>委員「協力機関とはどのような機関か。」</p> <p>事務局「スーパーや水道業者、宅配業者、郵便局、銀行など市民の生活に身近な機関となっている。訪問をした際の様子や協力機関へ立ち寄った高齢者に、異変を感じるなど気になる様子があれば連絡をいただくこととなっている。」</p> <p>委員「認知症初期集中支援チームについて、大変意義のある取り組みであると思うが、どのような専門職の方がどのように支援を行ったのか。」</p> <p>事務局「認知症初期集中支援チームのメンバーは、専門医3名と、</p>

各地域包括支援センターの認知症地域支援推進員6名、そのケースに関わるケアマネジャーなどである。病院を受診させたいが受診しない、認知症のある人の対応に苦慮しているなど、どのように関わっていくと認知症の方や家族が地域で生活できるのかを話し合い、その後の経過を把握し、関わり方を評価し、支援につなげている。」

委員「大変貴重なお話である。認知症予防も大事であるが、認知症になった後、ご本人もご家族も非常に悩むので、ぜひこういった取組みを大事にしていきたい。」

→了承

5 ケアマネジメント支援分科会の開催報告について「資料5」
○ケアマネジメント支援分科会の開催報告について、事務局から資料に沿って説明

→了承

6 その他

○事務局より連絡

次回の協議会は、6月に開催を予定している。詳細が決まり次第お知らせさせていただく。